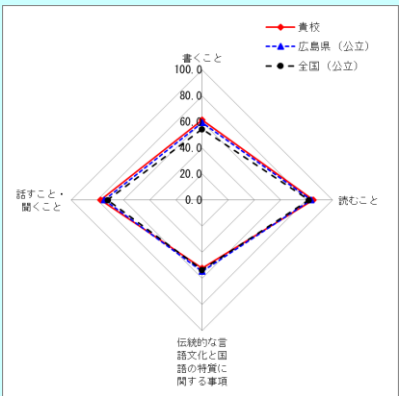


指導方法等の改善計画について〔国語科〕

坂町立 坂小学校

全国学力・学習状況調査 本年度正答率



本校 67.0%
全国 63.8%
県 66.0%

本年度の結果について

○全体的な傾向について
国語の結果において、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3つの領域で、県平均・全国平均と比べ数値が上回っていることから、国語における学力が概ね定着してきていると考えられる。しかし、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域では、52.4%の通過率となっており、県平均・全国平均と比べ数値が下回っている。漢字を文の中で適切に使ったり、漢字の意味を正しく理解したりすることに関して課題が見られる。

○昨年度の課題への取組の成果と課題
昨年度は、「書くこと」の領域において、相手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめることや、目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして詳しく書くことに課題が見られた。そこで、日々の授業の中で他教科と関連させながら話し合いの場面を意図的に仕組んだり、文字数・キーワード等の条件を付けた作文を書かせたりする等、日常的に指導を繰り返してきた。その結果、本年度の「書くこと」に関する領域の通過率は、全国平均に比べ6.9ポイント高い結果となった。しかし、目的や意図に応じて自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことについての問いは39.0%の通過率であり、昨年度に引き続き継続した指導が必要である。

重点課題 全国学力・学習状況調査

○「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域において、学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使ったり、漢字の意味を正しく理解したりすることに課題がある。
(設問1四(1)ア：通過率37.8%) (設問1四(1)ウ：通過率12.2%)

○「書くこと」の領域において、目的や意図に応じて自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことに課題がある。(設問1三：通過率39.0%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

○漢字指導では、書き順や読み方だけでなく、漢字のもつ意味や同音異義語についても考えさせていく。

○文章を読む際に、キーワードに線を引いたり、書き込みをしたりしながら読み進めさせることで、それらを手がかりに文章の内容や問われていることの意味を理解させ、自分の考えをもたせる助けとしていく。

○日常的に様々な種類の文章に触れさせることで、自分の考えをもたせる材料としたり、文章の書きぶりに慣れさせたりする。

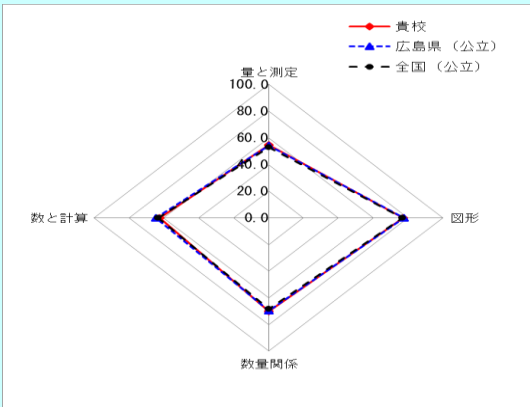
○決められた文字数の中で書いたり、二文を一文にしたりするなど、与えられた条件の中で書く練習を、国語科だけでなく他教科とも関連させることで積み重ねさせる。また、書く際には接続詞や文末表現に着目させたり、書き終えた際には自分の書いた文を読み返させたりすることで、自分の考えを適切に書きまとめる力を高めていく。

【全国学力】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		6年生 復習テスト(同問題)	5年生 小テスト(同問題)	5・6年生 標準学力テスト		5年生 H31「全国学力」	
目標値		1四(1)ア50% (今年度県平均程度) 1四(1)ウ35% (今年度全国平均程度) 1三45% (今年度通過率+5p)	1四(1)ア40% (今年度通過率程度) 1四(1)ウ15% (今年度通過率程度) 1三40% (今年度通過率程度)	75% (昨年度全国平均程度)		67% (今年度通過率程度)	
実施後数値							

指導方法等の改善計画について〔算数科〕

坂町立 坂小学校

全国学力・学習状況調査 本年度正答率



本校 67.0%
全国 66.6%
県 68.0%

本年度の結果について

○全体的な傾向について
算数の結果において、選択式の問題は 78.3%，記述式の問題は 48.8%の通過率となっている。県平均・全国平均と比べ、どちらの数値も上回っており、既習事項や基礎的な内容についてはおおむね定着していると考えられる。しかし、示された計算の仕方を解釈し別の式に適用する問題については県平均・全国平均を下回っており、計算に関して成り立つ性質を見いだしたり、それを活用したりすることに課題がある。

○昨年度の課題への取組の成果と課題
昨年度は、問題場面を把握し、正しいものや当てはまるものを選ぶことに課題が見られた。そこで、大切な言葉や数値に線を引かせたり気付きや要点を書き込ませたりすることに取り組んだ。その結果、今年度の選択式・短答式の通過率は 70%を超え、課題を整理・把握する力が身に付いてきたと考えられる。一方で、記述式の通過率は 48.8%であるため、筋道を立てて考察し表現できるように指導していく必要がある。

重点課題 全国学力・学習状況調査

- 「数と計算」の領域において、示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述することに課題がある。（設問3（2）：通過率 31.7%）
- 「量と測定」の領域において、示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述することに課題がある。（設問1（3）：通過率 45.1%）
- 「数と計算」の領域において、示された除法の式の意味を理解することに課題がある。（設問3（4）：通過率 51.2%）

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

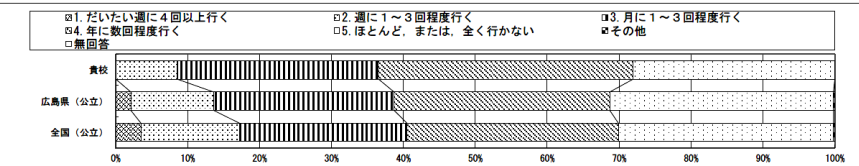
- 問題場面を整理・把握させるために、情報を取捨選択させたり気付きや要点を書き込ませたりする。また、言葉や数値を図式化させるだけでなく、その意味や理由について説明できるような場を設定する。
- 示されている「△△さんの求め方」「△△さんの計算の仕方」を解釈できるように、言葉や式でまとめられていることを自分の言葉で表現したり、それを活用して適用問題を解いたりしながら理解を深めさせる。
- 筋道を立てた考察や発展的な考察ができるように、単元のまとめや家庭学習などで実生活とつなげた問題作りに取り組む。

【全国学力】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		6年生 復習テスト（同問題）	5年生 小テスト（同問題）	5・6年生 標準学力テスト		5年生 H31「全国学力」	
目標値		3（2）35%（今年度通過率+3p） 1（3）48%（今年度通過率+3p） 3（4）55%（今年度通過率+3p）	30%（今年度通過率程度） 45%（今年度通過率程度） 50%（今年度通過率程度）	70%（昨年度全国平均程度）		68%（今年度県平均程度）	
実施後数値							

質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：児童質問紙調査）（全国学力・学習状況調査：児童質問紙調査）

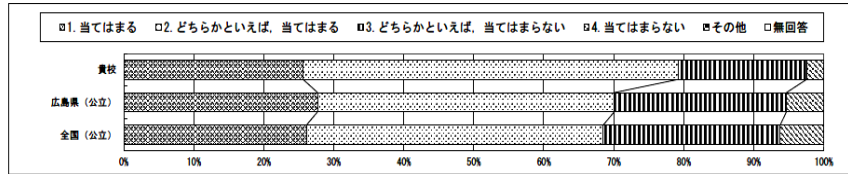
（１）生活・学習

◇昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか。

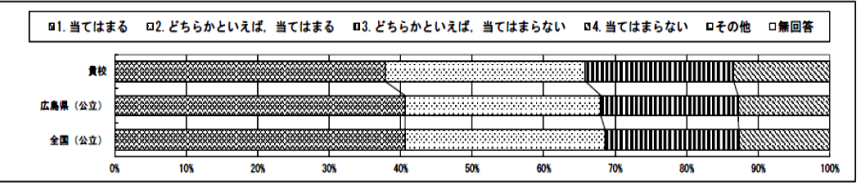


（２）教科

◇国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように理由を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫していますか。



◇算数の勉強は好きですか。



	児童の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
基礎・基本	◎自分にはよいところがあります。 あてはまると回答した児童の割合 70.1% (県平均 79.7%)	・学級など集団とのかかわりの中で、ほめる場面を意図的につくる。また、最高学年に向けて、自覚をもたせる活動を徐々に取り入れていく。	5	80%	児童アンケート	2月		
全国	◇昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか。 だいたい週に4回以上行く 週に1～3回程度行く 月に1～3回程度行く (県平均 38.7% 全国平均 40.5%)	・国語や総合の授業で、図書室を計画的に利用する。 ・図書委員会の活動を充実させ、図書室利用の促進や新刊図書やおすすめの図書の紹介など、児童の主体性を生かした活動を推進する。	6	40%	児童アンケート	2月		

		児童の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	基礎・基本	◎国語の授業では、分からない言葉や漢字は、辞書を使って調べています。 あてはまると回答した児童の割合 67.1% (県平均 68.3%)	・分からない言葉や漢字が出てきた時には、辞書で調べる習慣をつけさせる。 ・意味調べの方法を指導し、家庭学習で取り組ませる。	5	70%	児童アンケート	2月		
	全国	◇国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように理由を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫していますか。 当てはまると回答した児童の割合 25.6% (県平均 27.7% 全国平均 26.1%)	・文章を書く際に、構成メモを使って書く活動を習慣化させる。 ・「話し方」レベル表を活用して、話す時に理由を示すなど、話し方を工夫するように意識させる。	6	28%	児童アンケート	2月		
算数	基礎・基本	◎算数の授業では、自分のとき方や考え方と比べながら友だちや先生の説明を聞いています。 あてはまると回答した児童の割合 83.6% (県平均 85.9%)	・全体やグループ・ペアでの活動において、相手意識をもって、つなぎ発言をさせていく。そのために、「聞く」レベル表を活用しながら相手の考えを注意して聞き、自分の考えをもつように指導する。	5	85%	児童アンケート	2月		
	全国	◇算数の勉強は好きですか。 当てはまると回答した児童の割合 37.8% (県平均 40.6% 全国平均 40.6%)	・朝の時間や授業で、計算などの簡単な内容から解き直しを行い、基礎基本の学力が確実に身につくように指導していく。そして、「できた。わかった。」という達成感を味わわせることによって、学習意欲も高めていく。	6	40%	児童アンケート	2月		
理科	基礎・基本	◎理科の授業はよく分かります。 あてはまると回答した児童の割合 70.1% (県平均 89.1%)	・何が分かっている何が分かっていないかを分析するために、2学期初めにアンケートを取る。そのアンケートをもとに、分かっていない単元や内容を中心に復習をすると共に、授業改善を行う。	5	80%	児童アンケート	2月		